

令和六年度 中学校中期Ⅱ 入学検査問題
国語(その二)

- ◎ 解答は別紙の解答用紙に記入しなさい。
- ◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・」「()」なども一字と数えます。
- ◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

考 査 番 号

二、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

中学二年生のひかりは誰とでも仲良くできる優しい性格で、陸上部に所属している。クラスでは、亜梨沙・さーや・ふじもとと一緒にグループにいるが、最近、同じクラスメイトの高橋さんともよく話をするようになっていた。ある時、ひかりは部活でケガをして、長い期間部活を休むことになり、その期間に些細なことで亜梨沙の機嫌を損ねてしまう。その後、仲直りができないまま日々が過ぎてしまっていた。

「なんか、ごめんね。邪魔しちゃって」

そう言って、さーやが私の隣に腰を下ろした。ううん、と首を振る。実はほんの一時前まで、さーやが今座っている場所には高橋さんがいた。元々、ここで落ち合う約束をしていたのだ。高橋さんにちいを紹介するために。そこにたまたまさーやが通りかかり、声をかけてきた。

『あれ、ひかり？ 何してんの？』

さーやこそ、と聞くと、塾の帰りだと言う。高橋さんは私とさーやの顔を交互に見比べ、「あー！私おつかい頼まれてたんだっ！」と突然声を張り上げて、逃げるようにその場から走り去っていった。引き留める暇もなかった。気を遣ってくれたんだらうけど、いくらなんでもボウ読みすぎる。高橋さんに役者の才能はないらしい。

「知らなかった。ひかりって、高橋さんと仲良かったんだ」

「……うん。そうなんだ」

「なんか意外」

そうつぶやいたきり、さーやが何も言わないので私も黙っていると、このタイミングで黙るのかよ、と肩を小突かれた。

「え、だってそうなんだもん。最近仲良くなったんだ」

さーやが私を見つめて、「①ちよつとだけわかつた気がする。亜梨沙の気持ち」とつぶやいた。え、と振り返ると、なんでもない、と首を振る。直接何か言われたわけじゃないのに、どうしてか。せめられているような気持ちになった。

「今のこつとて、亜梨沙にも話せてない感じ？」

「……うん」

◎後ろめたさが顔に出たのか、さーやは私を見て A と笑った。

「ま、そーだよ。話したら話したで、面倒臭いことになりそうだし。あいつ、結構嫉妬深いからなあ」

「面倒倒ってわけじゃないけど……」

「いいのいいの、わかってるって、とさーやが私の肩をぼんと叩く。」

「……どうもこうもないよ。見たらわかるじゃん」

亜梨沙はもう、私の起こす行動すべてが気に喰わないみたいだ。昨日なんて、体育のバレーの時間に私が亜梨沙を狙ってボールをぶつけてくる、と言って試合を中断させるし(亜梨沙がレシーブ下手なだけ)、私が亜梨沙を睨んだ、という理由でわざわざ休み時間にモンクを言ってきた(最初に睨んできたのは亜梨沙の方だ)。

「あと、ふじもんも。亜梨沙のせいかわからないけど、最近態度キツいんだよね」

それを聞いて、さーやが「ああ、史徳か」とつぶやいた。あれ、と思う。さーやはいつから、ふじもんを呼び捨てるようになったんだろう。

令和六年度 中学校中期Ⅱ 入学検査問題
国語(その三)

- ◎ 解答は別紙の解答用紙に記入しなさい。
◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・」「()」なども一字と数えます。
◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

検査番号

「史穂の性格的に、仕方ないんじゃない」

「でも、ちよつとくらい中立保ってくれたってよくない？」

するとさーやが何かを言いかけ、途中で止めた。少して思い直したように、ねえ、ひかり、と再び口を開く。

「史穂んち、お母さんが家出中って知ってる？」

「え」

「どうせまた戻ってくるとは言ってたけどね。ちよつと前から、家がそういう感じだったみたい。子どもがいるところで、ふつうに怒鳴り合いとかしちゃうんだって。史穂が人の喧嘩とかを嫌がるのって、そういうのもあるんじゃないかな」

びつくりした。今まで知らなかったふじもんの家の事情はもちろん、さーやにそこまで話すんだ、ということにも。いつも明るくて、お調子者のふじもん。ふじもんはさーやに、どんな顔を見せているんだろう。私の知るふじもんとさーやの知るふじもんは、違うのだろうか。私から見えている亜梨沙とさーやから見えている亜梨沙が、まるで違うように。

「知らなかった」

「史穂も、誰にも話してないって言った。これ、わたしが言ったって史穂には秘密ね」

そう言って、人差し指を唇に当てる。

「史穂は、ひかりがうらやましいんだと思う。ひかり、家族と仲良いでしょ。みんなで食事に行ったとか、旅行したとかよく聞く。そういうの、自分の家と比べちゃうってのはあるかもしれない」

「そう、なんだ」

「いきなりこんな話してごめんね。でもひかりには言つといた方がいいかなって」

ううん、ありがと、と首を振る。たしかに、ちよつと落ち込んだ。知らずにふじもんを傷つけていたことはもちろん、自分の家族が周りの人からはそう見えるってことが。そんな風に思われるほど、いいものじゃないのに。

「私、ふじもんのことは全部亜梨沙の*差し金なんだろうって思ってた」

亜梨沙もいい迷惑だね、と言ってさーやが笑う。

「さーや、史穂に信頼されてるんだね」

◎ さーやがびつくりしたような顔で私を見返した。照れているのか頑なな口調で、そういうんじゃないよ、と首を振る。

「史穂は、自分の秘密を打ち明けられる相手が欲しかっただけだからさ」

え、と聞き返すと、さーやは「みんなそんなもんだよ」と私の顔を見た。

「信頼とか、そんなおおげさなものじゃなくて。このグループには好きな人を打ち明けようとか、この子にだけは自分の弱みを打ち明けられるとか。相手が自分だけに秘密を話してくれたらうれしいじゃない？ 自分が選ばれたみたいで。ごっこ遊びみたいなもんだよ。ひかりだって、亜梨沙には言えるけど、わたしとか史穂には言えないってこと、あるでしょう？」

さーやはそう言ったけど、私なら、ふじもんやさーやに言えないことはきつと亜梨沙にも言わないだろうな、と思った。昔とはもう違う。今の私は、亜梨沙に何も引き渡せない。私がこうじゃなかったら、私と亜梨沙の仲はここまでこじれなかったんだろうな、とも。

「全然心当たりない、って顔してるね」

仕方ないか、と言ってさーやが I をすくめる。

「ひかりって、ウラオモテないもんね。人によって態度変わったりしないし。誰といってもどこにいても、ひかりはひかりって感じ」

「……それって、悪いことかな」

「まさか。でも、それができる人達ばかりじゃないじゃん？ そういう人からしたら、ひかりってちよつと怖いんだよ」

令和六年度 中学校中期Ⅱ 入学考査問題
国 語 (その四)

- ◎ 解答は別紙の解答用紙に記入しなさい。
- ◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・()」なども一字と数えます。
- ◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

考 査 番 号

「怖い?」

さーやは私の言葉には答えず、「ひかり、[◎]相変異^{さくへんい}って知ってる?」と質問で返してきた。耳慣れない単語に、ううん、と首を振る。「自然界にはそういう現象があるんだって。大勢の仲間達に囲まれて生活すると狂暴^{きやうぼうか}化して、体の色とか、翅^{はね}の長さが変わる生き物があるの。例えば、さっきのバツタとか。相変異したバツタは集団で畑とか田んぼとかを襲^{おそ}って、その土地を食い荒^あらしちゃう」

「あ、それってもしかして」

「そう。イナゴの大群」

さーやの言葉に、少し前にちいと一緒に見た、渡り鳥の群れのことを思い出した。あれと似た光景を、昔テレビで見たことがある。「あれってイナゴじゃなくて、元々はその辺にいるようなトノサマバツタなんだって」

へえ、と感心して声を上げると、さーやが **B** と首を回し、川の方へと視線を向けた。

「わたしね、[◎]それを聞いた時ちよつと安心したの。一緒にいる人によって態度が変わったり、みんなの前では本当の自分が出せなかつたりすることって、ふつうにあると思うんだ。それって、人間だけじゃないんだなって」

さーやの言葉に、なぜか高橋さんの顔が思い浮かんだ。高橋さんは、教室にいる時は無口だけど、二人きりになるとよく喋^{しゃべ}る。そして、高橋さんがとてもきれいに野菜の皮を剥^むけるということを、クラスの誰^{だれ}も知らない。

でも多分、ひかりは **II** 方のバツタだね。さーやはそう言って、 **A** と笑った。

「……さーやも?」

さーやがそれを聞いて、え、と顔を上げる。

「さーやもみんなという時と一人の時が違う?」

C と口を開けたさーやが **D** と表情を崩^{くず}して、そうだよお、と笑った。

「ひかりみたいに、馬鹿^{ばかしやうじき}正直なやつばかりじゃないんだからね」

馬鹿、にわざわざアクセントを付けて、いーつと歯を見せる。でも、ちつとも腹は立たない。

さーやが急に立ち上がり、河原に向かって、おーい、と手を振った。それにつられて顔を上げると、さーやの視線の先で、ちいがびかびかの丸い石を掲^{かか}げながらこちらに歩いてくるのが見えた。

(こざわたまこ)『教室のゴールドイロックスゾーン』

- * ちい…ひかりの妹。
- * 差し金…かげで人を指図してあやつること。

問一 —— 線 a ~ d のカタカナを漢字に直して答えなさい。

問二 **A** ~ **D** に入る最も適切なことばを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。(**A** は二箇所あります。)

ア くしやり イ バタバタ ウ ぽかん エ ぎくり オ ぐるり カ くすり

問三 —— 線①「ちよつとだけわかった気がする」とありますが、その内容として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア ひかりのことで思い悩む亜梨沙の気持ち。 イ ひかりに対してきつく当たる亜梨沙の気持ち。

ウ 亜梨沙に対して嫉妬するひかりの気持ち。 エ 亜梨沙に酷^{ひど}い態度をとられたひかりの気持ち。

問四 —— 線②「後ろめたさが顔に出た」とありますが、「ひかり」はどのようなことに「後ろめたさ」を感じていたのですか。三十
字以内で説明しなさい。

令和六年度 中学校中期Ⅱ 入学考查問題

国語(その五)

- ◎ 解答は別紙の解答用紙に記入しなさい。
- ◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・」「()」なども一字と数えます。
- ◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

考 査 番 号

問五 — 線③ 「さーやがびっくりしたような顔で私を見返した」とありますが、「さーや」が「びっくりした」のはなぜですか。その理由として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 史穂が亜梨沙との関係を気にして、お母さんの家出の話をあえてひかりにはしていなかったということを知ったから。
- イ 史穂が家の事情を話した理由は、秘密を共有して特別な存在になるためだとひかりが思っていることに気づいたから。
- ウ 史穂がお母さんの家出の話を自分にしたのは、単に秘密を打ち明けられる相手が欲しかっただけだと感じていたから。
- エ 史穂が家の事情という秘密の話をしたのは、史穂がさーやを信用しているからだ、とひかりが勘違いをしていたから。

問六 I に当てはまる言葉を本文中からぬき出し、漢字一字で答えなさい。

問七 — 線④ 「相変異」の意味を表している部分を本文中から三十六字でぬき出し、はじめとおわりの五字を答えなさい。

問八 — 線⑤ 「それを聞いた時ちよつと安心したの」とありますが、それはなぜですか。その理由の説明として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 生き物の相変異のように、周りの環境に応じて自分を変えていくのは、生き延びるための唯一の方法であると言えるから。
- イ バッタや渡り鳥の相変異の例から、本当の自分が出せずに悩んでいるのは人間だけではないと感じ、勇気づけられたから。
- ウ 人間が狂暴化してしまうのは、バッタと同じように、大勢の仲間に囲まれることによる相変異が原因だ、と気づいたから。
- エ 相変異の例が、人によって態度を変えたり、本当の自分を出せなくなったりする自分を肯定してくれていると感じたから。

問九 II に当てはまる表現として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 変わらずにいられる
- イ 変わることができる
- ウ 変わらずにはられない
- エ 変わることができない

三、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

① 「〜と言えば」方式はキャッチボールのように②対話を続けるための実に効果的な技術です。ひとまず相手の話を聞いて、それを「〜と言えば」という言葉で引き取ってから自分の話につなげていく方式です。

まずは相手の話を受け入れることで、相手は自分の話を聞いてもらえたという安心感や満足感を得られます。それによって次は相手の話を聞こうという気持ちや、もっと対話を続けたいという気持ちになります。

A、この「〜と言えば」は、「あなたがおっしゃることはわかりました」と肯定や受諾を伝えるサインになるし、「次に私の話ですが」と、今度は自分の話に耳を傾けてもらおうきっかけにもなります。

(中 略)

「〜と言えば」方式は対立を生じさせずに、相手の話を徐々にズラしていく対話上の戦術でもあります。日本人の場合、まずは相手の話を肯定することで協調的態度を示し、そこから徐々に自分の意見に持っていくのが精神衛生上もいいのではないのでしょうか。

対話を発展させるための方法として、あえて否定的な意見を立てる古代ギリシヤ以来の対話術を根底に持つ欧米人に比べ、日本人はどんなことであれ、自分が否定されることを嫌う国民です。

令和六年度 中学校中期Ⅱ 入学考査問題
国語(その六)

- ◎ 解答は別紙の解答用紙に記入しなさい。
- ◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・」「()」なども一字と数えます。
- ◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

考 査 番 号

古代ギリシャでは、*ソクラテスや*プラトンなどによって対話術が発達しました。それを英語で「I」と言いますが、簡単に言ってしまうと、誰かがAと言ったら、別の誰かがとりあえずその反対のBと言って、そこから真実を求めたり、意味を確定したりするための対話が始まります。誰かがAと言ったのに対して他の人もAと言ったら、そこで終わってしまい、話は深まりもしなければ、発展もしません。このように対話とは、古代ギリシャ時代に発達した文化的で知的な討論術の一種なのです。

それが後年、「弁証法」(英語では「ディアレクティック」)に発展しました。これはテーゼと呼ばれる*命題があったら、それに対してアンチテーゼと呼ばれる反対の命題を掲げ、対話によってそれを*コウジのレベルで統一させることで、新しい秩序や価値を生み出すものです。「正—反—合」という形で示されることもあります。

つまり、対話とはそもそも真実を明らかにしたり、何か新しいものを生み出したりするために行うクリエイティブな営為です。そのため、あえて相手が言ったことに対して反論を*トナえるわけです。別に相手のことをたたきつぶすためにIIのことを言うわけではありません。

(中 略)

対話を上げるためには、やはり◎「文脈力」を向上させる必要があります。文脈力とは『コミュニケーション力』という本の中でも強調している私自身の*ノウハウですが、端的に言えば「意味のつながり(文脈)を的確につかまえる力」のことです。

そう聞くと、たいがいの人は、ある程度は自分も文脈力を持っていると思ってしまう。たとえば「本を読んであらすじを書きなさい」と言われれば、それなりにできます。でも、対話になるとどうでしょう。

◎話が進めば進むほど、そのあらすじを思い出すのは意外と難しいものです。これはなぜかという点、本などの文字で書かれてあるものは簡単に見返すことができるのに対して、今、進行中の対話は文字になっていないため、前に戻ってあらすじを確認することができないからです。

では、対話における文脈力とは、どんなときに必要とされ、◎シンカを発揮するものなのでしょうか。

B 考えてほしいのは、対話というものは、ただの会話やお喋りとは違うということです。普通の会話であれば、話の内容が散らばったり、話題が飛んだりしても構いません。というのも、それによって何かを作り上げるのが目的ではないからです。

C、対話は違います。それによって何かを学んだり、決定したり、生み出したりするのが本来の対話の目的です。そのためには話の文脈をしっかり押さえつつ、なおかつ少しずつ視点を変えながら話を発展させていく必要があります。

少しずつ視点を変えながら話を積み上げて行くことは、実りある対話を成立させるために欠かせないことです。とはいえ視点を変えることで、それまでの話の経過やそもそもの本筋が一瞬、わからなくなるときがあります。

そこで必要となってくるのが、話を本筋に引き戻す力です。対話において文脈力があるかどうかは、この戻す力と大きく関わってきます。文脈力がある人が対話に加わっていると、話がさまざまに枝分かれして、今どこにいるのかわからない迷子の状態になっても、きちんと本来の流れや道に戻ることができることができます。

文脈力をつけるための基本的な訓練としては、やはり本を読むことが大切です。本を読まない人よりも本を読んでいる人のほうが、文脈力はつきやすい。というのも、本というものは前に書かれてあることがわかっていないと、今読んでいる箇所の意味がわからないからです。この話が前の話とどう関係があるかわからないと、話の*脈絡が正確にはつかめません。本を読むことは、文脈力を鍛えるためのベースとなるトレーニングですね。

D、本を読むのが苦手だという人もいますので、そういう方にはドラマや映画、あるいはアニメや漫画でも構わないので、普段からストーリーを意識しながら見るといってお勧めします。

ストーリーを意識するとは、簡単に言えば*伏線を押さえるということです。今、このシーンの、この発言は、前のどこに伏線が

令和六年度 中学校中期Ⅱ 入学考查問題
国語(その七)

- ◎ 解答は別紙の解答用紙に記入しなさい。
- ◎ 字数制限のある解答は、句読点や記号「・()」なども一字と数えます。
- ◎ 設問の都合により原文を一部、改めたところがあります。

考 査 番 号

ったのか絶えず意識しながら話の展開を追うように心がけたいと思います。ドラマにしろ、アニメにしろ、作品には伏線があります。このシーンはどこに伏線があったのか、このセリフは次の展開においてどんな意味を持つのか、そういうつながりを意識することが、文脈力を養うための訓練になります。

普段から⑥のような練習を積んでおくことが、対話の場面でも生きてきます。相手の話にはどんな伏線があるのか、あるいはこの話はどう展開していくのか、文脈力があればよりの確に理解できるようになりますね。

(阿川佐和子・齋藤孝『対話力 人生を変える聞き方・話し方』)

- * ソクラテス・プラトン：古代ギリシヤの哲学者。 * 命題：言葉によつて表した判断のこと。
- * 脈絡：物事の「貫」したつながり。 * 伏線：小説などで、後の展開に必要な事柄をあらかじめほめかしておくこと。

問一 — 線 a ~ d のカタカナを漢字に直して答えなさい。

問二 — A ~ D に入る最も適切なことばを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア まず イ たとえば ウ つまり エ ですから オ ただ カ ところが

問三 — 線①『』と「言えば」方式の説明として、最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア あえて相手と対立する意見を述べ、相手の話を徐々にブラしていきながら対話を発展させていく方法。
- イ 「あなたのことを肯定しています」と伝えるために、相手の話の内容をそのまま繰り返すという対話の方法。
- ウ 否定的な意見を避け、相手の話の内容から連想した言葉を使う、話題が飛んでも構わないとする対話の方法。
- エ 反対の意見だとしても、まずは相手の意見を受け入れ、相手に安心感を与えながら対話を続けていく方法。

問四 — 線②「対話」とはどのようなものだと筆者は述べていますか。本文中から四十二字でぬき出し、はじめとおわりの五字を答えなさい。

問五 — I には英語で「対話」を意味する言葉が当てはまります。次から選び、記号で答えなさい。

ア モニタリング イ ダイアログ ウ プロローグ エ プログラミング

問六 — II に当てはまる言葉を前の段落からぬき出し、漢字二字で答えなさい。

問七 — 線③『文脈力』を向上させる必要があります」とありますが、「文脈力」を向上させるのに必要なこととは何ですか。本文中から六字でぬき出して答えなさい。

問八 — 線④「話が進めば進むほど、そのあらすじを思い出すのは意外と難しい」とありますが、それはなぜですか。本文中の言葉を使って、四十字以内で説明しなさい。

問九 — 線⑤「こうした練習」の内容として、最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 苦手な本を読むことはせずに、ストーリーを意識しながら、ドラマや映画、アニメや漫画を見るといふ訓練。
- イ 作品のどのシーンに伏線があるのか、セリフがどのような意味を持つのか、というつながりを意識する訓練。
- ウ 話の文脈をしっかりと押さえつつ、少しずつ視点を変えながら話を発展させていくという文脈力を鍛える訓練。
- エ 本を読んでいる途中で、どこを読んでいるのかわからない状態から、きちんと本来の流れに戻ってくる訓練。

令和6年度入試 中期II

国 語

【全体の講評】

全体の平均点が約63点という、他の日程と比べて少し低い結果となりました。基本的な語句の知識を習得できていない受験生が一定数おり、その部分で大幅に点数を落としている答案が目立ちました。また設問の内容に沿って解答できていない答案も散見されました。

【各問題について】 ※正答率はそれぞれ上から順に医進選抜・SG・ミライの合格者の平均です。

問題	正答率	出題内容：敬語・ことわざ・四字熟語・品詞
一	78%	ことわざや四字熟語に使われる漢字を用いて解く問題で、点数を落としている答案が多くありました。品詞の形容動詞を選ぶ問題では、「親切だ」を選択すべきところで、間違えて「大きな（連体詞）」を選択している受験生が複数いました。他の問題に関しては、比較的よくできていました。
	78%	
	62%	

問題	正答率	出題内容：文学的文章
二	79%	ストーリーの流れはある程度読み取れていましたが、問四で登場人物の感情をうまく説明できていない受験生が目立ちました。また、問二で表情を崩す様子を表現した言葉として「くしゃり」を選択できなかった受験生や、問六の「肩をすくめる」という体の部位を使った慣用句の理解が足りなかった受験生もいました。
	71%	
	54%	

問題	正答率	出題内容：説明的文章
三	75%	問一の漢字の書き取りで間違える受験生が多くいました。例えば、「高次」が正解のところに「工事」、「真価」が正解のところに「進化」と書いて解答していました。日頃から同音異義語の言葉を意識しながら学習し、漢字の書き取りでは傍線の前後の文脈も読み取った上で考える練習をしてほしいと感じました。また、抜き出しで写し間違える受験生も多かったため、落ち着いて問題に取り組んで欲しいと思いました。
	78%	
	63%	

令和 6 年度 中学校中期Ⅱ 入学考査問題

理 科 (その 1)

1 次の文章を読み、以下の各問いに答えなさい。

私たちの住む日本には、世界中の陸地にある火山の 1 割が存在しているといわれています。火山がふん火した時に出る(①)などは、とても高温で大きな力を持っているため、周囲の大地を変化させ、人々の生活に大きなえいきょうをあたえます。

日本にある火山の形はさまざまです。火山の形は、地下にある岩石が高温でどろどろにとけたマグマのねばりけによって決まります。ふん火の時に、地表にでてきたマグマを(①)とよびます。マグマのねばりけが小さく流れやすいと、地表にでた(①)はうすく広がって流れ、けい斜がゆるやかな火山になります。また、マグマのねばりけが大きく流れにくいと、地表にでた(①)が広がりにくく、けい斜が急で盛り上がった形の火山になります。また、マグマのねばりけによって、ふん火のようすも変化します。マグマのねばりけが大きいとばく発的なふん火になり、ねばりけが小さいとおだやかなふん火になります。

マグマのねばりけは、ふくまれている二酸化ケイ素の量などで決まります。マグマにふくまれている二酸化ケイ素の量が多いほど、マグマはねばりけが大きくなります。また、マグマにふくまれている二酸化ケイ素が冷えて固まると、白くとう明なつぶになります。

北海道の有珠山は、日本で最も活動的な火山の 1 つです。有珠山は、過去にばく発的なふん火をたびたび起こしています。有珠山がふん火した際には、頂上付近から火山灰や(①)のかけらが、高温のガスと一緒に山の斜面を流れ下る(②)が発生しました。(②)はスピードが非常に速く、時速 100 キロをこえることもあります。(②)は大変高温で、おそわれた森林や住宅がいつしゅんのうちに燃え上がってしまいます。また、ふん火によって火山の斜面に降り積もった火山灰などが、雨水と一緒に斜面を流れ下る(③)が発生しました。

伊豆大島の三原山も、活動的な火山です。有珠山の(①)とくらべて、三原山から流れでた(①)のねばりけは小さく、色は[A]です。

私たちは、(①)の流れや降り積もる火山灰、(②)、(③)などの火山災害に備えることが必要です。一方で、火山がもたらすめぐみを利用することも大切です。火山がもたらすめぐみには、「地下水が地下にあるマグマの熱で温められた(④)を利用する」や「火山の熱を利用した(⑤)発電所で電気をつくる」、そして、「降り積もった火山灰による野菜のさい培」などがあります。また、火山灰の層を調べると、どの火山が、いつふん火した時の火山灰かが分かります。その情報は、地層や地形、地かく変動、海水面の変化、気候変動などの調査や研究にとっても役立ちます。

問 1 文章中の(①)～(⑤)にあてはまる言葉を答えなさい。

問 2 文章中の有珠山はどのような火山ですか。次の(ア)～(ウ)から 1 つ選び、記号で答えなさい。

(ア) けい斜がほとんどない火山 (イ) けい斜がゆるやかな火山 (ウ) けい斜が急で盛り上がっている火山

問 3 文章中の[A]にあてはまる言葉を、次の(ア)～(ウ)から 1 つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 黒っぽい (イ) 白っぽい (ウ) 変わらない

問 4 近年、地球温暖化の原因と考えられている二酸化炭素をはい出せず、どこにでも存在してなくなることがない「再生可能エネルギー」が注目されています。文章中の下線部「火山の熱」も再生可能エネルギーの 1 つです。火山の熱と同じく、再生可能エネルギーの源となるものを、次の(ア)～(オ)からすべて選び、記号で答えなさい。

(ア) 太陽光 (イ) 石油・石炭 (ウ) 風力 (エ) 天然ガス (オ) 太陽熱

問 5 千葉県には、「白尾層」と呼ばれる火山灰の層がよく見える場所があります。この火山灰の層は、約 77 万年前に現在の長野県と岐阜県にまたがる御嶽山のあたりがふん火した時にできました。このような情報をもとに地球の歴史はいくつかの時代に分けられています。千葉県のある地層は、その情報の豊富さから、約 77 万 4 千年前から 12 万 9 千年前の時代を代表する地層として国際的に認められました。このことから、約 77 万 4 千年前から 12 万 9 千年前の時代は、国際的に何と呼ばれるようになりましたか。カタカナ 5 文字で答えなさい。

令和 6 年度 中学校中期Ⅱ入学考查問題

理 科 (その 2)

2 次の文章を読み、以下の各問いに答えなさい。

わたしたちの体の中には多くの水がふくまれています。血液もほとんどは水できています。動物も植物も生きていくためには水は必要なものです。

わたしたちヒトは、約 60%が水です。たとえば、体重 40kg の小学生の場合、約(①)Lの水がふくまれることになります。赤ちゃんの頃は最も水分が多く、体の約 75%が水分です。そして、年をとるとともに体の水分が減っていき、高齢になると 50%くらいになります。ヒトは 1日に尿や便として約 1.6Lの水をはい出し、汗や呼吸からも 0.9Lの水を出しています。すると、それだけの水を毎日取り入れなければなりません。私たちは、毎日の(②)によって 1.0Lを取り入れており、体の中でおこる反応でも 0.3Lの水がつけられます。すると、(③)Lの水を飲むことが必要だということがわかります。

全身をめぐる血液は、水が一番多くふくまれる液体です。

血液は、(④)などを運んでいます。不要なものが、(⑤)でこし出されて、尿ができます。右の図はここをくわしく表しています。不要なものをこし出すことを



図

「ろ過」といい、ろ過された液体を原尿とよびます。原尿

は 1日当たり約 180Lもつけられますので、このまま原尿が尿になると(⑥)。実際は、原尿から必要な物質が再び体に取りこまれる「再吸収」というのはたらきが行われて、1日当たりの尿は約 1.5Lになります。

では植物ではどうでしょうか。スイカやトマト、キュウリなどの野菜は、(⑦)。野菜のような植物は水を(⑧)から取りこみ、くき、葉と通って、葉のうらの(⑨)から水蒸気となって出ていく通り道があります。したがって、毎日の水やりはとても大切です。

問 1 文章中の(①)はいくらになりますか、答えなさい。ただし、1gの水は 1mLとします。

問 2 直接飲む水のほかにどのようにして水を取りこんでいるかを考えて、文章中の(②)にあてはまる言葉を答えなさい。

問 3 文章中の(③)にあてはまる数字を答えなさい。

問 4 文章中の(④)にあてはまらない物質はどれですか。次の(ア)～(オ)からすべて選び、記号で答えなさい。

(ア) 酸素 (イ) でんぷん (ウ) ちっ素 (エ) 空気 (オ) 二酸化炭素

問 5 文章中の(⑤)にあてはまる臓器の名前を答えなさい。

問 6 文章中の(⑥)にあてはまる文を、次の(ア)～(ウ)から 1つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 体の酸素が不足してしまいます (イ) 血液のめぐりがよくなります (ウ) 体中の水分がほとんど出てしまいます

問 7 原尿としてはい出された水のうち、再吸収されて再び体にもどってくる水は何%ですか。小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位まで答えなさい。

問 8 文章中の(⑦)にあてはまる文を、次の(ア)～(ウ)から 1つ選び、記号で答えなさい。

(ア) ヒトよりも水分が多く含まれています (イ) ヒトよりも水分は少ないです (ウ) ヒトと同じくらいで約 60%が水です

問 9 文章中の(⑧)(⑨)にあてはまる植物の部位の名前をそれぞれ答えなさい。

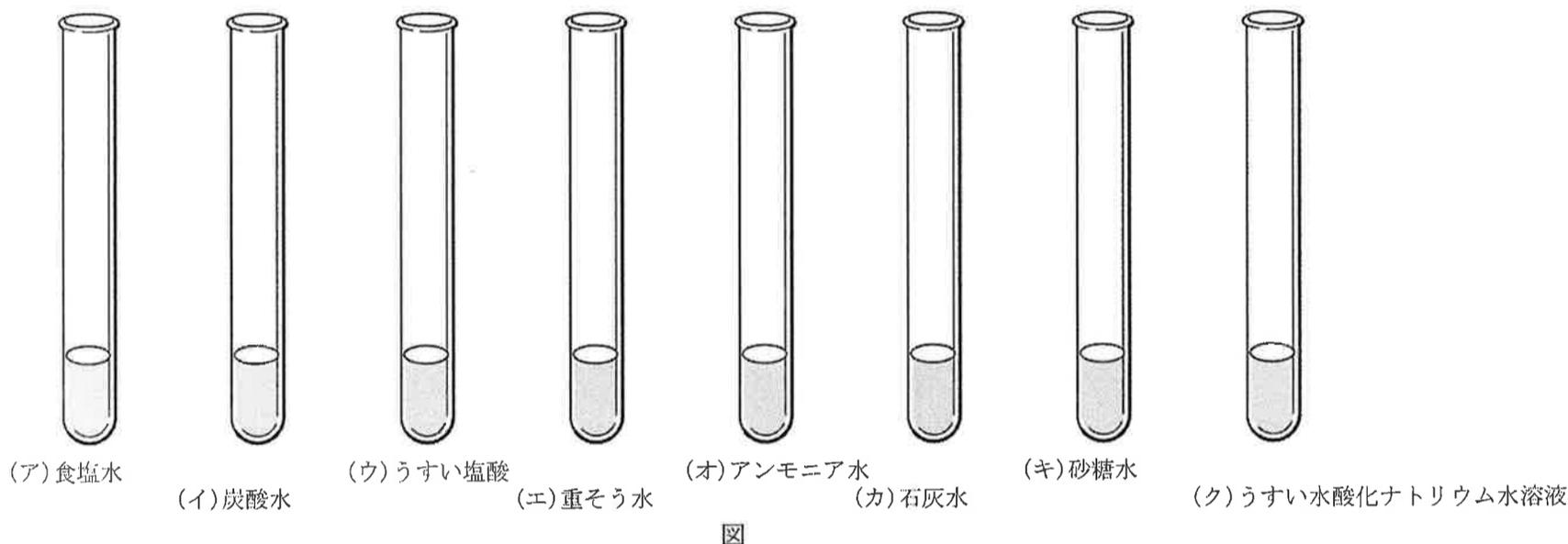
問 10 文章中の下線部「葉のうらの(⑨)から水蒸気となって出ていく」ことを何といいますか、答えなさい。

令和 6 年度 中学校中期Ⅱ 入学考査問題

理 科 (その 3)

3 次の文章を読み、以下の各問いに答えなさい。

試験管に、次の 8 種類の水溶液^{すいようぎ}を用意しました。(ア)食塩水、(イ)炭酸水、(ウ)うすい塩酸、(エ)重そう水、(オ)うすいアンモニア水、(カ)石灰水、(キ)砂糖水、(ク)うすい水酸化ナトリウム水溶液です。それぞれの水溶液に対して、次の【実験 1】～【実験 4】を行い、水溶液 A～H が(ア)～(ク)のいずれであるかを考えます。



【実験 1】 8 種類の水溶液を少しずつ蒸発皿にとり、加熱するとあとに何も残らなかった試験管は、A、B、H の 3 本でした。

【実験 2】 8 種類の水溶液をリトマス紙で調べると、青色を赤色に変化させたのは、A、B の 2 つ、赤色を青色に変化させたのは、C、D、G、H の 4 つでした。

【実験 3】 8 種類の水溶液を白金線の先にそれぞれ少しずつつけ、ガスバーナーの炎（ほのお）の中に入れると、C、E、G の 3 つが黄色、D が橙色(だいたい)の炎になりました。

【実験 4】 水溶液 B と D を混ぜると、白くにごりました。

問 1 (ア)～(ク)の水溶液のうち、無色透明水溶液ではないのはどれですか。記号で答えなさい。ただし、なければ「なし」と答えなさい。

問 2 (ア)～(ク)の水溶液のうち、においのする水溶液はどれですか。(ア)～(ク)からすべて選び、記号で答えなさい。

問 3 (ア)～(ク)の水溶液をそれぞれ加熱すると、黒色にこげるのはどれですか。(ア)～(ク)から 1 つ選び、記号で答えなさい。

問 4 (ア)食塩水を作るには、(イ)～(ク)のどれとどれを適量に混ぜ合わせれば作ることができますか。記号で答えなさい。

問 5 【実験 1】～【実験 4】の実験結果より、8 種類の水溶液 A～H が(ア)～(ク)のどの水溶液になるかをそれぞれ記号で答えなさい。ただし、水溶液 G は、「汚れ落とし」と「消臭」を目的として一般的に使用されています。

問 6 濃さが 8.76%の塩酸 100g と 9.6%の水酸化ナトリウム水溶液 100g を混ぜ合わせると、7.02%の食塩水が 200g できます。この水溶液は、BTB 溶液を数滴加えると緑色になりました。次に、この水酸化ナトリウム 6.4g を水に溶かして 100g とし、8.76%の塩酸 100g と混ぜ合わせ、その混合溶液 10g を蒸発皿にとり加熱しました。固体として出てきた白い粉は何 g になりますか。答えは、小数で割り切れる数字になります。四捨五入しないで答えなさい。

令和6年度 中学校中期Ⅱ入学考查問題

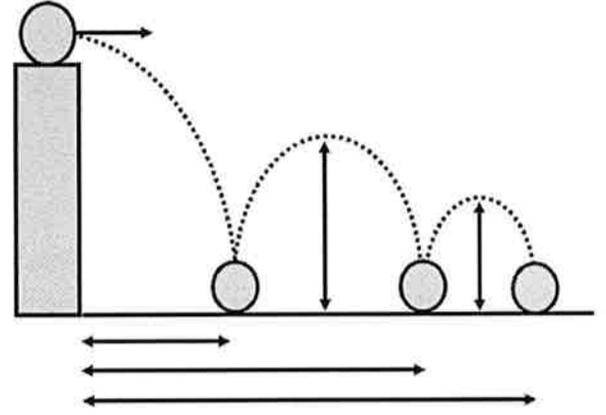
理 科 (その4)

4 次のボールのはねかえる様子を調べる実験について説明した文章を読み、実験の結果を参考に、以下の各問いに答えなさい。

いろいろな高さの台上から地面に対して平行に打ち出されたボールが、下図のように地面でくり返しはねかえる様子を調べるために条件を変えて実験を行いました。

【実験1】高さ20cmの台上から、ボールを秒速100cmで地面に対して平行に打ち出しました。

- A 打ち出されてからはじめて地面についた時間、打ち出されてから2回目に地面についた時間、打ち出されてから3回目に地面についた時間をそれぞれ測定しました。
- B はじめて地面ではねかえた後、地面から最も高くなった高さ、2回目に地面ではねかえた後、地面から最も高くなった高さをそれぞれ測定しました。
- C はじめて地面についた時の台からの距離、2回目に地面についた時の台からの距離、3回目に地面についた時の台からの距離をそれぞれ測定しました。



図

【実験2】高さ80cmの台上から、【実験1】と同じボールを秒速100cmで地面に対して平行に打ち出しました。

【実験1】と同じA、B、Cをそれぞれ測定しました。

【実験3】高さ80cmの台上から、【実験1】と同じボールを秒速200cmで地面に対して平行に打ち出しました。

【実験1】と同じA、B、Cをそれぞれ測定しました。

【実験4】高さ180cmの台上から、【実験1】と同じボールを秒速100cmで地面に対して平行に打ち出しました。

【実験1】と同じA、B、Cをそれぞれ測定しました。

【実験1】から【実験4】までの実験結果が次の表1～表3のようになりました。

表1 各実験Aの結果

	1回目	2回目	3回目
実験1	0.2秒	0.4秒	0.5秒
実験2	0.4秒	0.8秒	1秒
実験3	0.4秒	0.8秒	1秒
実験4	0.6秒	①	②

表2 各実験Bの結果

	1回目はねた後	2回目はねた後
実験1	5 cm	1.25 cm
実験2	20 cm	5cm
実験3	20 cm	5cm
実験4	③	④

表3 各実験Cの結果

	1回目	2回目	3回目
実験1	20 cm	40 cm	50 cm
実験2	40 cm	80 cm	100 cm
実験3	80 cm	160 cm	200 cm
実験4	⑤	⑥	⑦

問1 【実験4】の結果のうち、上の表の①～⑦にあてはまる数値をそれぞれ答えなさい。

問2 【実験2】で打ち出されてから4回目に地面についた時間を答えなさい。

問3 【実験3】で打ち出されてから4回目に地面についたときの台からの距離を答えなさい。

問4 【実験4】でボールを打ち出す速さを秒速300cmにすると、Cの3回目に地面についた時の台からの距離を答えなさい。

問5 高さ256cmの台上から同じボールを秒速100cmで打ち出したとき、3回目に地面ではねかえた後、最も地面から高くなった高さを答えなさい。

問6 以下の文章は、実験結果から分かったボールのはねかえり方について説明したものです。(①)～(③)にあてはまる言葉をそれぞれ答えなさい。

同じボールを使えば、地面につく時間は(①)によって決まる。

同じボールを使えば、はねかえた後、地面から最も高くなった高さは(②)によって決まる。

同じボール・同じ高さの台を使えば、地面についた時の台からの距離は(③)に比例する。

考 査 番 号	
----------------	--

令和6年度 中学校中期Ⅱ入学考查 解答用紙

理 科

1	問 1	①		②		③		④		
		⑤		問 2		問 3		問 4		問 5

2	問 1		L	問 2				問 3		L
	問 4			問 5			問 6			
	問 7		%	問 8		問 9	⑧	⑨		問 10

3	問 1		問 2		問 3		問 4		と
	問 5	A	B	C	D	E	F		
		G	H	問 6					g

4	問 1	①		②		③		cm
			秒		秒			
		④		⑤		⑥		cm
			cm		cm			
	⑦		問 2		問 3		cm	
			cm		秒			
問 4			問 5				cm	
			cm		cm			
問 6	①		②		③			

得 点	
1	
2	
3	
4	
合計	
整 理 番 号	
(ここに記入しない)	

令和6年度入試 中期II

理 科

【全体の講評】

教科書内容からの出題ですが、一部発展的な内容もふくまれています。問題文に説明や解説が示されていますが、時間内でその内容を理解し、解かなければなりません。重要語句の暗記はもちろんのこと、その語句をしっかりと理解・説明できるよう、日頃から学習してください。

【各問題について】 ※正答率はそれぞれ上から順に医進選抜・SG・ミライの合格者の平均です。

問題	出題内容：火山の形や噴火のようす	
1	45%	教科書から出題した問題と、少し発展的な内容から出題した問題で構成しました。問題文をよく読み、内容を理解し、問題で正しい選択肢を選ぶことができたかどうかで得点に差がつかしました。教科書でも紹介されている「チバニアン」を答えることができた人が思っていたより少なかったです。
	66%	
	47%	

問題	出題内容：体内での水の循環と排出	
2	86%	人の体内の水をテーマに、文章を読んで理解し判断する力を問いました。初めて見る語句もあったと思いますが、文章そのものは平易なため、内容は理解できた人が多かったと感じます。
	83%	
	65%	

問題	出題内容：水溶液の性質と中和反応でできる食塩の量	
3	90%	8種類の物質の性質を考える問題です。それぞれの物質の性質が理解できていれば正答できると思います。そして、最後の問題は、塩酸と水酸化ナトリウム水溶液がちょうど中和できる量の計算問題になります。濃度と割合の計算がきちんとできるかがカギになります。
	83%	
	78%	

問題	出題内容：台から水平に打ち出された物体のはねかえり方	
4	95%	与えられた表には、台の高さや打ち出す速さを変化させたときに、はねかえった後の高さや到達する距離がどのように変化するかが示さされていました。どの実験を比較すれば何がわかるかを読み取れた生徒は、計算が簡単なこともあり高得点者も多かったように思いますが、得点の差が大きかったように思います。滝川中学入試理科問題4の特徴を押さえ、読解力を身につけてほしいと思います。
	84%	
	49%	

令和6年度 中学校中期Ⅱ入学考查問題
算 数 (その1)

[注意]

- ◎ 解答はすべて別紙解答用紙に記入しなさい。
- ◎ 図は必ずしも正確ではありません。
- ◎ 円周率は3.14として計算しなさい。
- ◎ 解答が分数の場合は約分をして答えなさい。

① 次の□に当てはまる数を答えなさい。

(1) $(15 - 5 \div \frac{2}{5}) \times 0.8 = \square$

(2) $2.4 \times 1.25 \div 2.8 = \square$

(3) $1250 \times (20 - 4) + 625 \div (\frac{1}{2} - \frac{1}{4}) = \square$

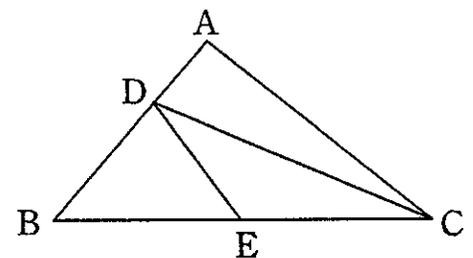
(4) $202 \times 198 - 204 \times 196 = \square$

(5) 秒速 5 cm = 時速 □ m

② 次の各問いに答えなさい。

(1) 5個の同じボールをA, B, Cの3人で分けます。3人とも少なくとも1個はもらえるとき、分け方は全部で何通りあるか答えなさい。

(2) 右の図において、 $AD : BD = 1 : 2$, $BE = EC$ です。
三角形CDEと三角形ABCの面積比を最も簡単な整数の比で答えなさい。



(3) 1個85円のおかしと1個110円のパンを合わせて42個買うと4170円でした。おかしとパンはそれぞれ何個買ったか答えなさい。

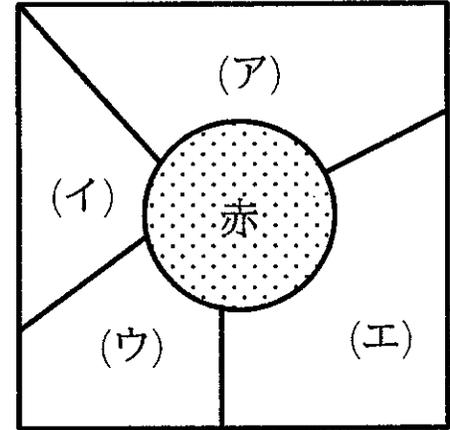
(4) 時速2kmで流れる川をモーターボートで下流から上流に向けて3km進むのに30分かかりました。川の流れがないときのモーターボートの速さは、時速何kmであるか答えなさい。

(5) 姉と弟の所持金の比は8:5でしたが、姉は500円、弟は400円使ったので、姉と弟の所持金の比は5:3になりました。姉の最初の所持金は何円か答えなさい。

(6) いくつかのチョコレートを子どもたちに分けるのに、1人6個ずつ分けると33個余り、1人8個ずつ分けると39個足りません。チョコレートは全部で何個か答えなさい。

令和 6 年度 中学校中期Ⅱ入学考查問題
算 数 (その 2)

- ③ 右の図において、円の部分には赤がぬられており、残りの(ア)、(イ)、(ウ)、(エ)の場所に他の色をぬります。ただし、となり合う場所には、同じ色をぬらないようにします。このとき、次の各問いに答えなさい。



- (1) 青, 黄, 緑, 黒の 4 色全部を使って残りの部分をぬり分けると何通りのぬり方がありますか。
- (2) 青, 黄の 2 色全部を使って残りの部分をぬり分けると、何通りのぬり方がありますか。
- (3) 青, 黄, 緑の 3 色全部を使って残りの部分をぬり分けると、何通りのぬり方がありますか。
- ④ 1 周 2.4 km のランニングコースの A 地点から、ひろとさんは分速 120 m で右回りに、あおいさんは分速 80 m で左回りに、同時に出発します。このとき、次の各問いに答えなさい。
- (1) 出発してから何分後に 2 人は出会いますか。
- (2) 出発してから、2 回目に出会った地点でひろとさんは何分か休けいして左回りに移動します。2 人が 3 回目に出会う場所が A 地点になるには、ひろとさんは休けいを何分すればよいか答えなさい。
- (3) ひろとさんとあおいさんの移動について、次のようなルールを決めてもう一度 A 地点から出発します。

(移動についてのルール)

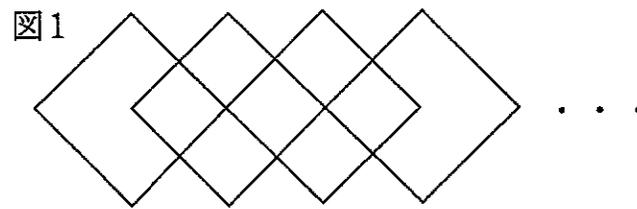
- ① 2 人が反対方向に移動して出会うとき
ひろとさんは 5 分間休けいをして左回りに進み、あおいさんは休けいをしないで同じ向きに進む。
- ② 2 人が同じ方向に移動して出会うとき
ひろとさんは休けいをしないで右回りに進み、あおいさんは 3 分間休けいをして同じ向きに進む。

2 人が 4 回目に出会うのは、出発してから何分何秒後であるか求めなさい。

令和6年度 中学校中期Ⅱ入学考查問題
算 数 (その3)

5] 小学校の図工の時間に、まことさんはいろいろな正多角形をはり合わせて図形を作りました。次の各問いに答えなさい。

(1) 下の図1では、1辺の長さが2 cm の正方形を、対角線の中心に次の正方形の頂点が来るように順に4個の正方形をはり合わせたところです。このようにして正方形を何枚かはり合わせます。

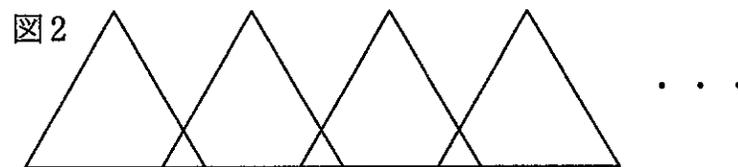


① 6個の正方形でできた図形の面積は何 cm^2 か求めなさい。

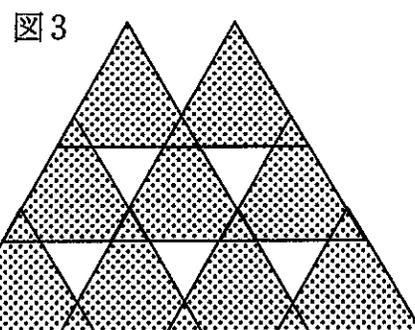
② 8個の正方形でできた図形の周りの長さは何 cm か求めなさい。

(2) 次に、まことさんは1辺の長さが2 cm の正三角形を底辺の長さの $\frac{1}{4}$ が重なるようにはり合わせました。

下の図2は4個の正三角形をはり合わせたものです。できた図形の周りの長さが60 cm となるのは、何個の正三角形をはり合わせたときか求めなさい。



(3) まことさんは(2)と同様に正三角形をはり合わせてできた図形をいくつか作り、図3のように正三角形が重なっている部分に、さらにたてにもはり合わせました。図3の図形の色のついた部分の面積はもとの正三角形の面積の何倍であるか求めなさい。



考查番号	
------	--

令和6年度 中学校中期Ⅱ入学考查 計算用紙
算 数

令和6年度入試 中期II

算 数

【全体の講評】

基本的な問題をいかに取りこぼさずに解き、残った時間でじっくりと考えられたかどうかで差がつかれました。また、一つの大問で複数の単元が含まれているものもあります。問題文をしっかりと読み、間違わないようにしましょう。

【各問題について】 ※正答率はそれぞれ上から順に医進選抜・SG・ミライの合格者の平均です。

問題	正答率	出題内容：計算問題（単位換算含む）（易）
1	91%	比較的容易な計算問題でよくできていましたが、単位換算ではしっかり単位を見て答えましょう。
	87%	
	79%	

問題	正答率	出題内容：小問集合（面積比・つるかめ算・流水算・過不足算など）（易）
2	95%	基本的な文章問題でした。時間があれば必ず見直しをしましょう。
	88%	
	66%	

問題	正答率	出題内容：場合の数（標準）
3	73%	5つに分かれた図形の領域に色を塗るときの場合の数です。試験中は黒の鉛筆しかありませんが、具体的に色をあてはめてみると答えに近づきます。
	72%	
	50%	

問題	正答率	出題内容：旅人算（やや難）
4	51%	条件設定がややこしい速さの問題でした。「休憩する」ことで考えにくくなったかもしれません。問題文を読み取り、問題を解くのに必要な条件を理解する必要があります。
	44%	
	36%	

問題	正答率	出題内容：規則性・面積比（標準）
5	73%	図形の一部を重ねて作った図形の問題です。(1)、(2)は規則性の問題、(3)は面積比の問題と異なる要素が問われ、差がついた問題でした。
	67%	
	31%	